


# 介護・福祉ネットみやぎ速報

発行者 NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ  
責任者 事務局長 渡辺 淳子

☎ 022-276-5202

022-276-5205 

## みんなで考えよう介護保険！

### 「みやぎ県民フォーラム2023」を開催しました

12月16日（土）13時30分から16時30分までフォレスト仙台第5・6会議室をメイン会場に、だれもが安心して利用することができる介護保険制度を目指し、実行委員会構成団体の15団体（下段参照）主催による「みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム2023」を開催しました。介護事業者、介護従事者、利用者、関連団体、一般市民などオンライン配信を含め100人を超える参加がありました。

2000年より施行された介護保険制度は、近年大きく改定され、サービス給付範囲の縮小、介護保険料・利用料などの国民負担が増大しています。

一方で現在の介護報酬では事業者が抱える経営困難を打開できず、物価高騰やコロナ禍の影響で、より深刻さが増しているのが現状です。利用者に行き届いた介護が保障され、介護職員が専門性を発揮し生き生きと働き続けられる介護保険制度が求められています。



小竹雅子さんの講演の様子

第1部は『介護保険2024年改定に向けて-現状と課題～「介護のある暮らし」を守るために』と題して、市民福祉情報オフィス・ハスカップの小竹雅子さんを迎え、介護・福祉現場の課題や介護保険2024年制度改定について講演いただきました。度重なる制度改定により、制度は複雑化し、政府が進めてきた給付削減、負担増が「保険あって介護なし」の事態をますます深刻にしている。介護職の処遇の低さなど、制度のおかしさに気づき、きちんと怒って声をあげることが大切である。」と強く訴えられました。介護保険制度を最新のデータとともに、わかりやすく解説いただきました。

第2部は介護をめぐる現状について現場からの実態が報告されました。家族の立場から遠藤輝雄さん（公益社団法人「認知症の人と家族の会」宮城県支部）、介護労働者の立場から斎藤将さん（宮城県医療労働組合連合会 長町病院介護福祉士）、介護事業所実態調査報告を佐々木隆行さん（社会福祉法人宮城厚生福祉会事務局次長）、主催者から活動報告を大内誠さん（県民フォーラム事務局長、社会福祉法人宮城厚生福祉会専務）らがそれぞれの立場で意見を述べました。

最後に実行委員から集会決議案が提案され、採択されました。

#### 【実行委員会構成団体】

(NPO) 介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ・(社福) 仙台ビーナス会・(社福) 宮城厚生福祉会・宮城県生活協同組合連合会・(公財) 宮城厚生協会・宮城県民医連事業協同組合・(公社) 認知症の人と家族の会宮城県支部・宮城県保険医協会・宮城県社会保障推進協議会・宮城県医療労働組合連合会・宮城県民主医療機関連合会・全国福祉保育労働組合宮城支部・みやぎヘルパー介護労働者連絡会・(社福) こーぷ福祉会・フルール介護ステーション (順不同)